

# 福島県立図書館

## 第1節 概要

### 1 運営の重点

生涯学習センターとして県民の多様な資料利用に応えるため、資料の整備充実を図るとともに、市町村立図書館や公民館図書室等に対する資料や調査相談業務への援助につとめた。

#### (1) 資料の整備

基本図書の収集整備を図るとともに、郷土資料の収集にあたっては、県内の出版物は勿論のこと、東北地方の出版物をも収集した。

#### (2) 調査相談業務

参考図書の充実と相まって、相談業務の範囲、件数も著しく増加し、県内図書館の相互貸借等も活発化を見るに至った。

#### (3) 移動図書館の運行

市町村との連携を密にし、利用状況を考慮し、貸出冊数、巡回経路、駐車場の設置等に利用者の希望を尊重した。

#### (4) 親子読書文庫の充実

当初予定した30セットもようやく実現し、利用先もボランティアによる地域・家庭文庫等が過半数を占めるようになった。

#### (5) 読書普及活動の推進と職員の研修

市町村読書施設への一括貸出しを積極的に行なうとともに、職員の実務研修の場を多く設け、専門職としての資質の向上につとめた。

### 2 図書館協議会

#### (1) 委員

任期2年目の委員は次の各氏であるが、委員の転勤、転職等により選任替えが行われた。委員は次のとおりである。

池田 善治	福島県議会議員	55	12	19	辞任
大川原栄喜	塩川町公民館長				
小林 忠道	福島商工会議所専務理事				
齋藤 正夫	福島県立川俣高等学校長	55	11	12	辞任
高橋 哲夫	福島県文化センター館長				
高山 聡	福島県信用保証協会専務理事				
深谷 タケ	岩瀬郡連合婦人会長				
辺見 正治	福島市教育委員会教育長				
堀口 知明	福島大学教育学部教授				
南沢 馨	NHK福島放送局長	55	11	12	辞任
平山 正秋	福島県立福島女子高校長	55	11	12	就任
高橋 雄亮	NHK福島放送局長	55	11	12	就任
三浦 一	福島県議会議員	55	12	19	就任

#### (2) 委員会の開催

第1回 昭和55年7月23日

- ・昭和54年度事業執行状況について
- ・昭和55年度事業計画について

・昭和55年度当初予算について

・その他

第2回 昭和56年1月30日

・福島県立図書館利用規則の一部改正について

・昭和55年度当初予算要求の概要について

・新県立図書館建設計画の経過について

・中島文庫の設置について

・その他

第3回 昭和56年3月23日

第4回 昭和56年3月24日

・昭和55年度事業実施状況について

・新館開館に伴う準備等について

・その他

## 第2節 整理事務

### 1 図書館資料の収集

#### (1) 一般資料の収集

県立図書館としての重点目標である調査相談業務の充実のため、資料収集の面では、昨年度に引きつづき、参考図書の整備をはかるとともに、市町村立図書館や個人では備えることが困難な「資料集」の収集に力をいれた。

基本的な「資料集」として、「増補史料大成・続増補史料大成」「明治中期産業運動資料」「英語教育史資料」「太政官日誌」「編年百姓一揆史料集成」「大衆芸能資料集成」等がある。

児童図書の研究資料としては、よく知られている「オズボーン・コレクション」の複製版、「ほるぶ世界の絵本」も収集することができた。

他方、本年度は、会津若松、福島、郡山の各市で「みちのくの本1,000点フェア」が開催されたこともあって、東北各県で出版されている本で、内容的に優れたものをおよそ100冊を収集した。これらの本は、東北各県の県民性が脈づいており「地方小出版こそが出版の原点」といわれている今日、地方出版物の収集には、今後とも力を入れていきたい。

受入れ状況は表1のとおりである。

表1 資料の受入れ整理状況

区分	購入	寄贈	編入	管理換	計	
一般図書	(館内)	3,423	2,453	231	5	6,112
	(館外)	4,186	752			4,938
児童図書	(館内)	677	241	0	0	918
	(館外)	5,481	766			6,247
計	(館内)	4,100	2,694	231	5	7,030
	(館外)	9,667	1,518			11,185
合計		13,767	4,212	231	5	18,215